

R7年度 医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する計画

医療従事者の勤務状況等

令和7年4月1日現在の医療従事者の勤務状況		
・医療従事者数	常勤 776名	非常勤 77名
・週平均勤務時間	38.75時間（常勤）	5.81時間（非常勤）

医療従事者負担軽減のための取組

・タスクシフトの観点から職種横断的に業務遂行し、時間外勤務を削減する。
・診療報酬改定、診療体制等の変更に伴い臨機応変に対応する。
・スキルアップできる職場環境の構築による業務効率化と人員適正化の推進。
・看護職員夜間配置加算並びに、急性期看護補助体制加算算定による看護職員の夜間勤務の負担軽減
・院内保育所の利用者増を目的とした設備や行事の充実
・産休・育休制度の充実
・育児介護制度の促進
・宿直翌日午後の勤務免除制度
・宿日直体制から交代制勤務以降を目的とした人員の採用
・育児短時間制度等を活用した短時間正規雇用医師の活用。
・働き方改革における医師、医療技術職のシフト化

医療従事者の負担軽減及び処遇改善につながったかの評価体

・医療従事者の負担軽減及び処遇改善に係る責任者(診療業務等役割分担推進委員会委員長)として 中尾 光成 診療局長が就任
・責任者の下、診療業務等役割分担推進委員会（診療局、看護局、医療技術局、事務局）を組織し、年1回、計画の達成状況の評価及び計画見直しを行う

医療従事者の負担軽減及び処遇改善に係る目標及び達成度の評価

項目	現状（R7、4、1現在）	必要な対処（取り組み内容）	項目	R7年度目標	達成度	評価
15対1医師事務作業補助体制加算の維持	医師事務作業補助者数 34 名在籍 ※1名は病気休暇中の為除く 令和6年度医師（研修医・専攻医除く）の平均時間外数 22.6時間	新人教育に限らない教育体制を作り、スキルアップできる職場環境にし、業務効率化と適正な人員配置に努め、医師のタスクシフトに貢献する。	医師事務作業補助者数	35 名		
			医師の平均時間外数（研修医・専攻医除く）	20時間/月		
紹介及び逆紹介率の上昇	令和6年度（平均） 紹介率 90.3% 逆紹介率 112%	地域医療機関との連携強化、かかりつけ医制度の周知等	紹介率	80.0%		
			逆紹介率	100.0%		
院内保育所の設置	24時間保育（週2日）・土曜日保育（隔週）の実施	現状の継続又は必要に応じた見直し	体制の維持	体制の維持		
育児制度（短時間勤務）の活用	育児部分休業 13人 育児短時間 5人	育児部分休業・短時間制度の活用 出生時育児休業の促進	制度活用	活用促進		

医療従事者負担軽減の評価尺度

項目	R7年度目標	達成度
超過勤務時間	3時間/人/週	
月平均当直回数	2.0回	

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善

項目	現状（R7.4.1）	必要な対処	項目	R7年度目標	達成度	評価
急性期看護補助体制加算算定による看護職員の夜間勤務の負担軽減	看護補助者 54人在籍（うち派遣職員19人）	派遣職員の直雇用化による人件費の削減	看護補助者数	60名		
院内保育所の設置	24時間保育（週2日）・土曜日保育（隔週）の実施	現状の継続又は必要に応じた見直し	制度活用	体制の維持		
育児制度（短時間勤務）の活用	育児部分休業 28人 育児短時間 16人	育児部分休業・短時間制度の活用 出生時育児休業の促進	活用促進	活用促進		

看護師の負担軽減の評価尺度

項目	R7年度目標	達成度	評価
超過勤務時間	2時間/人/週		
月平均当直回数	2.0回		